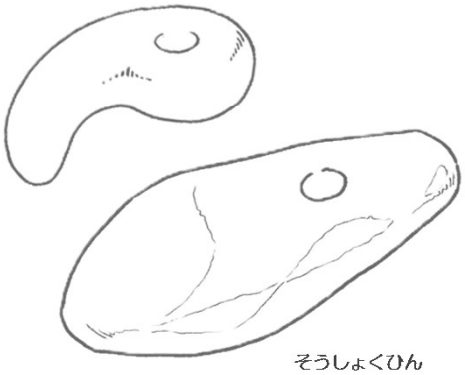
- 御風とヒスイと考古学 -

こたきがわこうぎょくさんち
小滝川硬玉産地



そうしょくひん
ヒスイの装飾品

約5,500年前、縄文人が糸魚川で地元産のヒスイの加工を始め、「大珠」などの装飾品として非常に珍重されましたが、奈良時代以降は利用されなくなり、糸魚川でヒスイが採れることも忘れ去られてしまいました。

昭和に入り、糸魚川の偉人「相馬御風」は、遺跡発掘にも取り組んでいたことから、この地方を治めていた「奴奈川姫」と「玉造り」との関連性に思い至り、歴史から消えたヒスイが糸魚川産なのではないかと知人に話します。このことがきっかけになり、現在の小滝地内で緑色のきれいな石が発見され、化学的な分析を経て、この石が「ヒスイ」であることが証明されました。「ヒスイの再発見」は、「御風のひらめき」のおかげだったのです。

応募する部門（いすれかに〇）

1 未就学児の部　　2 小学生・中学生の部　　3 高校生・ 一般の部

ペンネーム

※整理番号